

「ゆるくつながる」を意識した

小児心身症・不登校支援

～新規開業クリニックでの取り組みと今後の課題～

どんぐりこどもファミリークリニック

井口 英幸

小児心身症に関連した当院の取り組み

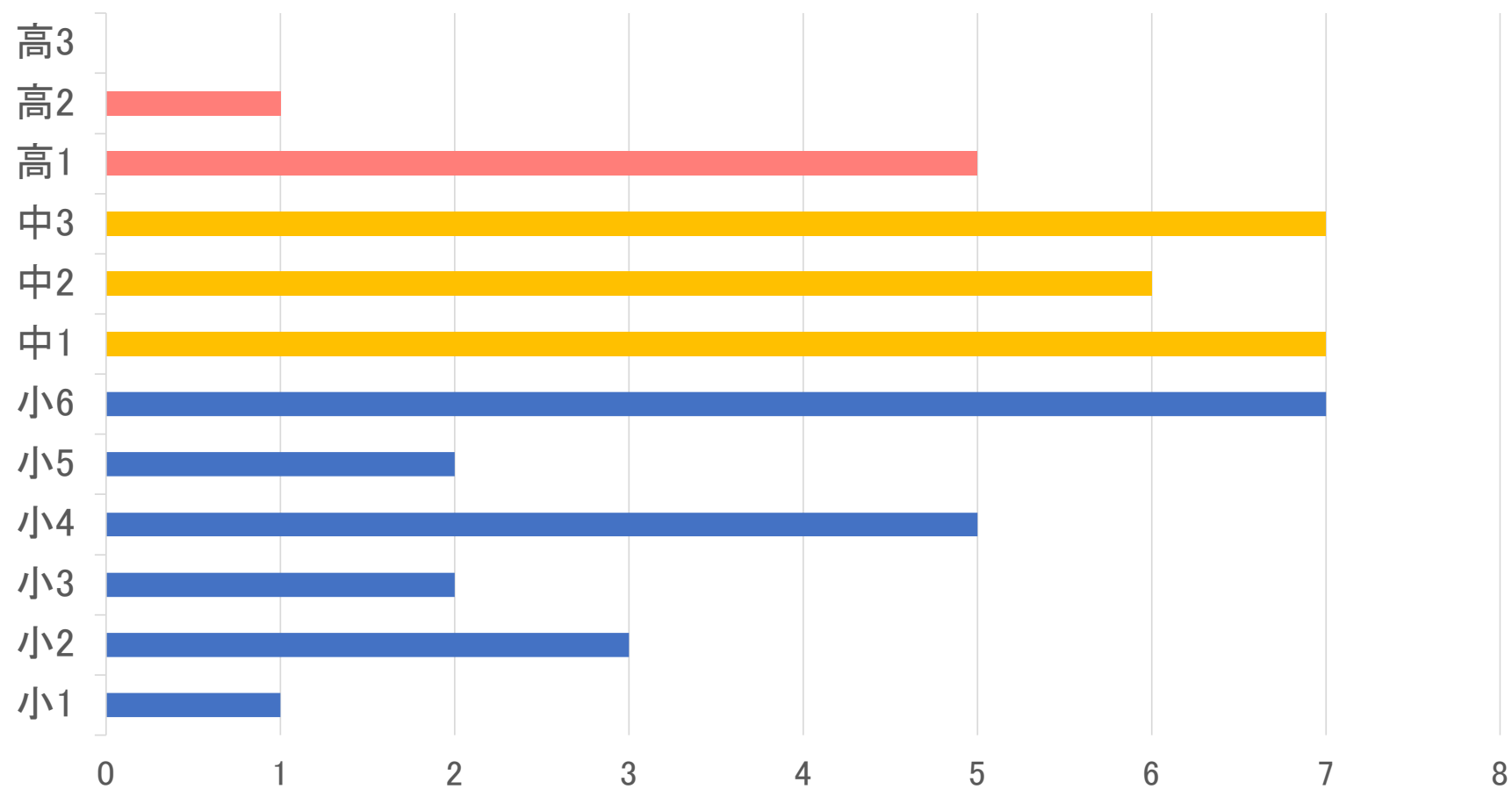
2025年5月～2026年4月（開院後ちょうど1年間）の期間において
当院で「小児心身症」と診断し、小児特定疾患カウンセリング料を算定した

46名（算定延べ回数147、1人あたり平均3.2回）を対象に

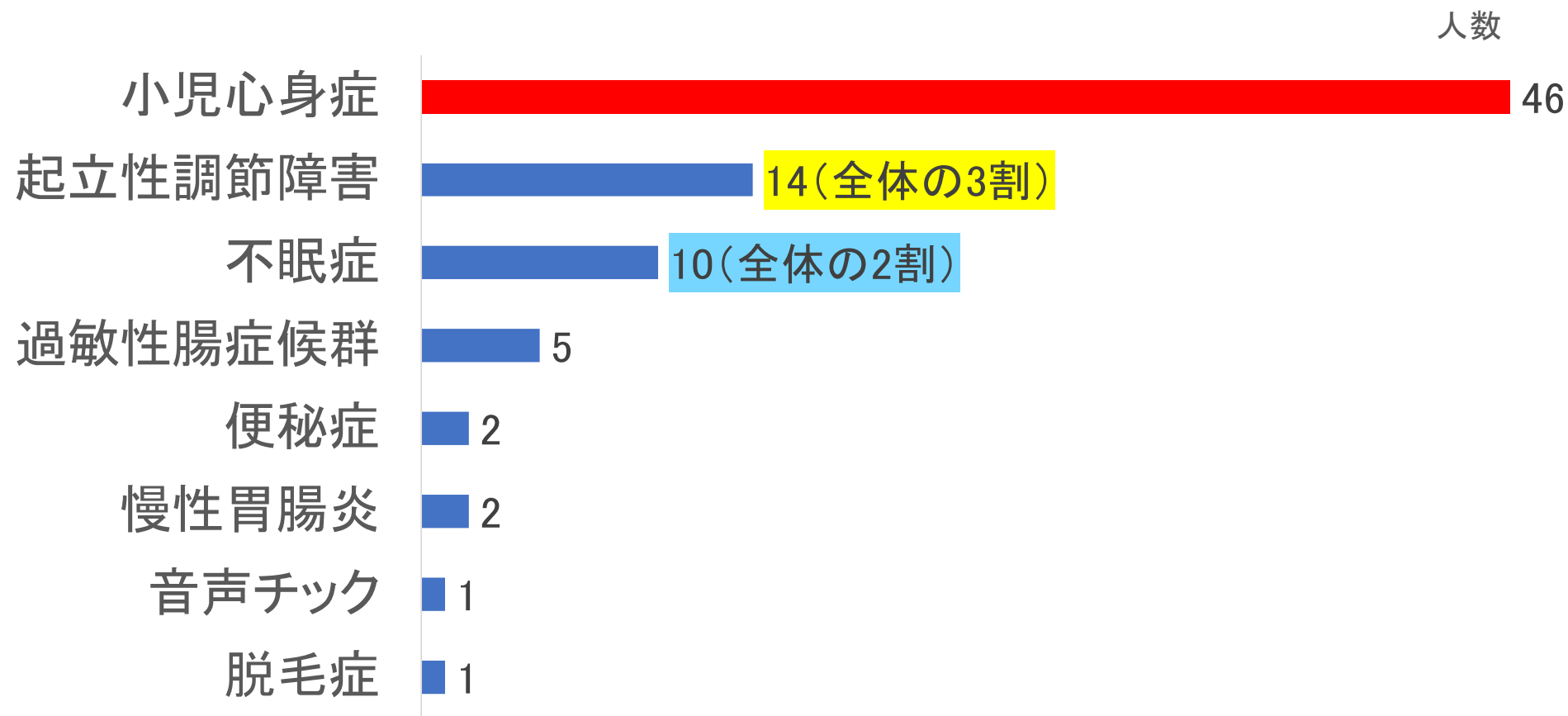
下記5つの項目について、考察・検討を行なった。

- (1) 年齢分布
- (2) 併存病名
- (3) 薬物療法の使用人数
- (4) フォロー開始（初診日）の分布
- (5) 登校状況および転帰

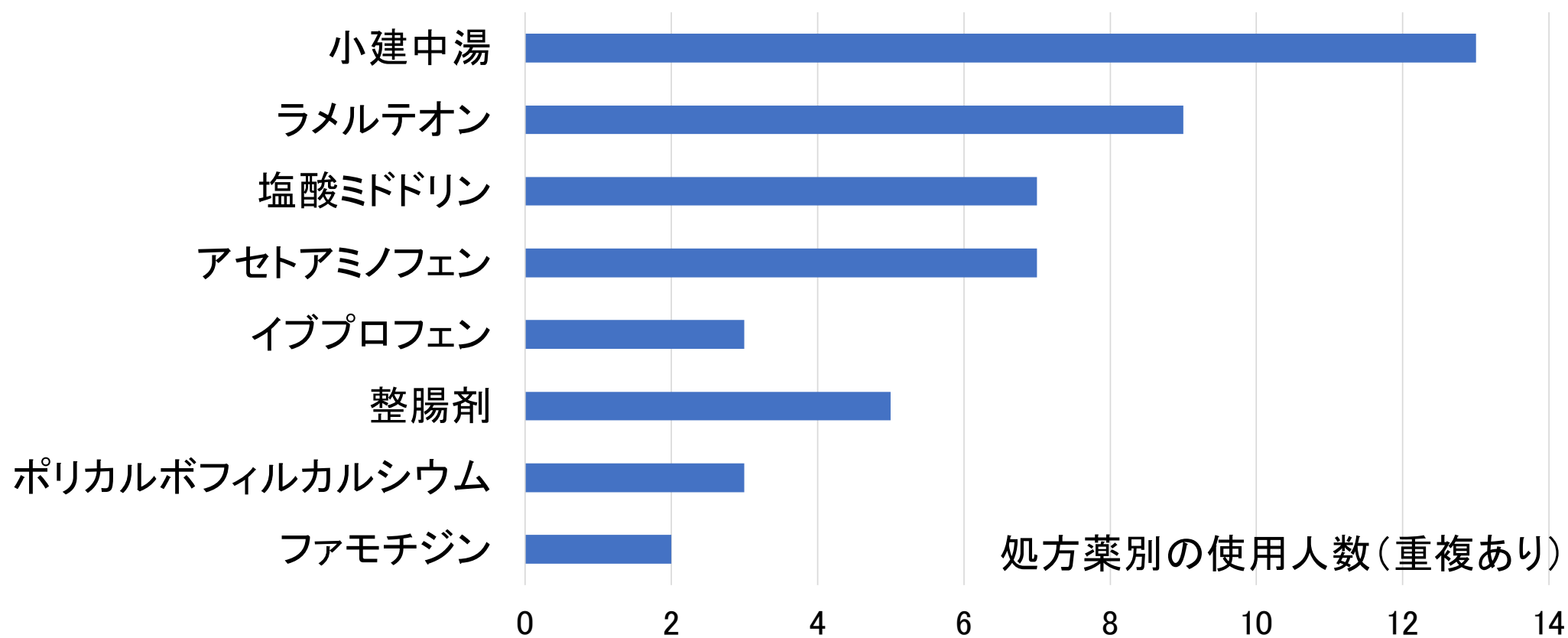
(1)「小児心身症」と診断した年齢分布(学年別)



(2) 小児心身症の併存病名（重複例あり）

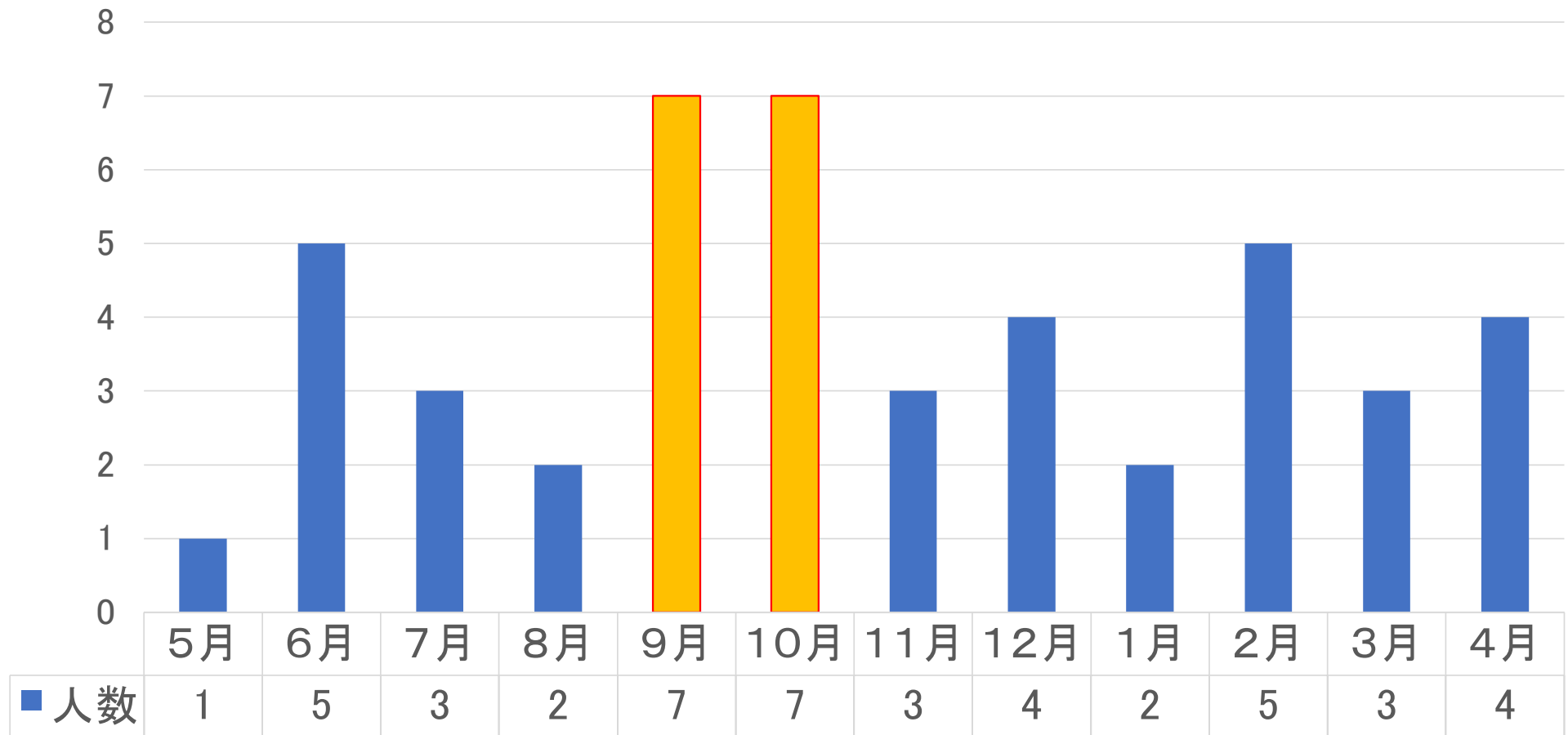


(3) 薬物療法の使用人数: 合計29人(全体の約6割)

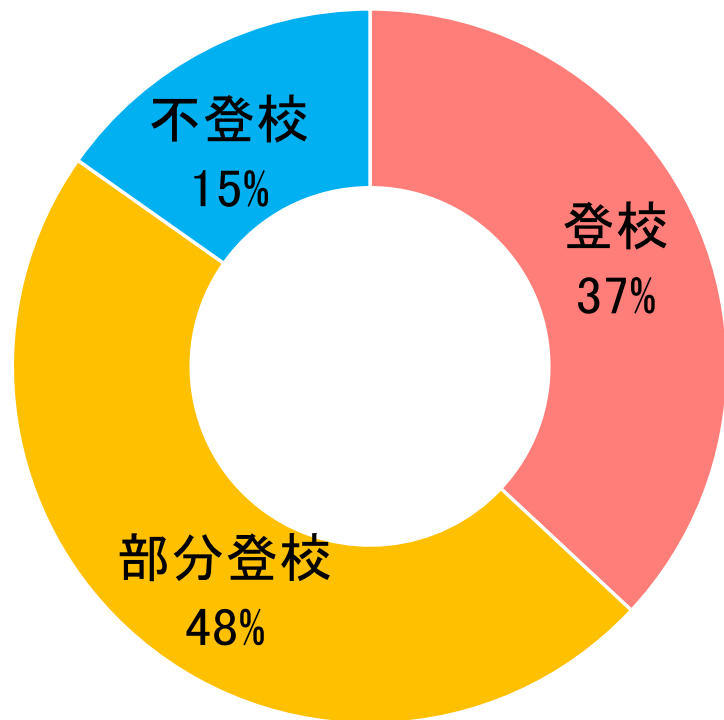


(4)「小児心身症」としてフォロー開始となった(初診日)

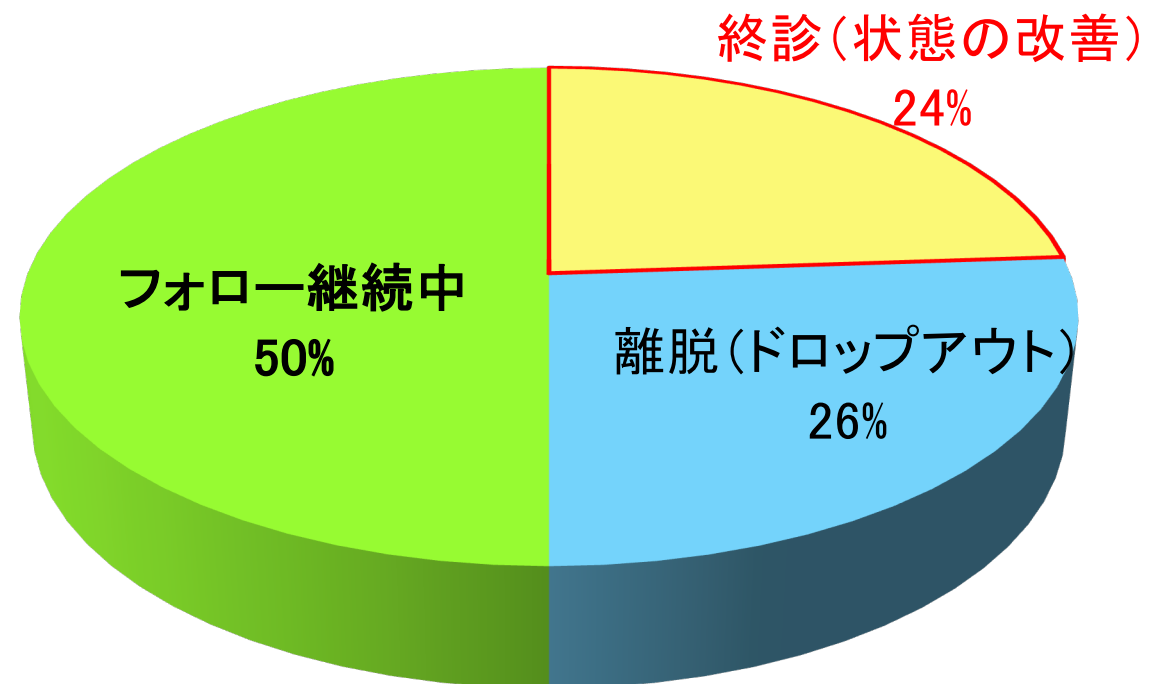
ひと月あたりの人数分布



(5) 初診時の登校状況および、フォロー開始後の転帰



フォロー開始後の転帰



追加資料①:職員アンケート

当院の「ゆるくつながる」診療スタイルの具体例は？

- ✓あえて不登校について真正面から話さずに、本人が好きな事や家族の事などの雑談を取り入れて、ゆるい雰囲気での対話スタイル。
- ✓「〇〇してみたらいいんじゃない？」など押しつけない言葉選び。
- ✓受診が途絶えたり、予約が延期になった際には、あまり追求せずに困ったときに利用できる場所として待っているスタンス。

追加資料②

こどもの居場所 necoco(ねここ)

@クリニック2階

対象:小1～高3

「学校や自宅以外の第3の居場所」で自由気まま

に過ごして、心のエネルギーを充電

2025年10月開設、利用登録者4名

市議、教育委員会、養護教諭など関係者の

施設見学を随時受入



こどもの居場所
necoco
ねここ

場所：どんぐりこどもファミリークリニックの2階
日時：月、火、水、金曜日 9:00～15:00
(土日、祝日、木曜日はお休み)
年齢：6歳(小学1年生)～18歳(高校3年生)

お弁当を持って1日居てもOK!

利用料金：見学・相談時にご説明します。

学校でもない、家でもない、
第3の居場所で過ごすことを目的とした所です。
ここで自由気ままに過ごし、好きなことをして、
心のエネルギーを充電できたらいいなと思います。

手芸やイラスト、
マンガや本などを
用意してあります。

～ご利用までの流れ～

- ① クリニックを受診
- ② 院長が利用を推奨
- ③ 見学・相談申し込み
- ④ 面談・利用規約の説明
- ⑤ 登録手続き完了

問い合わせ先



TEL 025-780-2204

"necoco"の由来は、
「ねこ」・・・猫のように自由気ままに。
「根っこ」・・・信頼できる誰かとつながって、
自分の心の根っこを大切にできるように。
人それぞれの考え方、ものの見方があるのが自然体で、
おもしろいと考えています。
学校以外でも学べること、経験できることは沢山あります。
「ワクワク」と「安心感」を感じられるような、こどもが自分のペースで過ごせる居場所にしていきたいと思います。

代表 どんぐりこどもファミリークリニック院長
井口 英幸



今後の課題

- ✓一般診療との共存・予約調整が難しい(WEB予約システムで試行錯誤)
- ✓心理職資格を持つスタッフ不在による診療内容の限界
- ✓こどもの居場所necocoの運営スタッフ確保、利用料の適正価格設定 など

小児科医1人、クリニック単独で出来ることは限られているが
地域関係者とも、「ゆるくつながる」を意識して
メンタル不調の子どもと保護者の不安を少しでも軽減できるように
持続可能な支援を模索していきたい。